

さいたま市長メッセージ（令和3年2月18日）

皆さん、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

2月13日に福島県沖を震源とする、最大震度6強を観測した地震がありました。被害にあわれた方にお見舞いを申し上げます。

幸い、今回の地震で、市内に大きな被害はありませんでしたが、今一度、地震への備えを確認していただきたいと思います。

さて、本市では、2月16日までの1週間で2,669件の検査を実施し、118名の新規陽性者が確認されました。ステージ3の指標を下回り、昨年の上旬と同程度の水準まで減少していますが、先週に続いて減少が鈍化しています。

また、市内の全療養者数は16日時点で614名となり、減少傾向が続いていますが、ステージ4の指標を大きく超えています。埼玉県全体の病床使用率も、67.4%となっており、医療提供体制は依然として厳しい状況です。

このような中、17日には国内で新型コロナウイルスワクチンの医療従事者向け先行接種が始まりました。

本市は、ワクチン接種を個別接種と集団接種の併用で行うこととしており、4月1日以降に見込まれている高齢者の皆様への接種に備えています。

現時点で、市内の約270か所の医療機関から協力が得られています。

加えて、集団接種会場の確保や、接種クーポン券の発行の準備を全力で進めているところです。

ワクチン接種^{せつしゅ}をスムーズ^{おこな}に行^いうためには、医療機関^{いりょうきかん}の皆様^{みなさま}の協力^{きょうりょく}が欠か
せません。そして新規陽性者数^{しんきようせいしやすう}を減らし、療養者数^{りょうようしやすう}を減少^{げんしょう}させ、医療機関^{いりょうきかん}
負担^{ふたん}を軽減^{けいげん}することが必要^{ひつよう}です。

市民^{しみん}の皆様^{みなさま}には、引き続き^{ひ つづ}、基本的感染予防策^{きほんてきかんせんよぼうさく}の徹底^{てってい}と、不要不急^{ふようふきゅう}の外出^{がいしゅつ}
の自粛等^{じしゅくとう}にご協力^{きょうりょく}をお願い^{ねが}します。